

造幣局と戦争

造幣さいたま博物館 特別展

2025

10/4(土) ▶ 10/28(火)

独立行政法人造幣局さいたま支局
造幣さいたま博物館

入館
無料

造幣局と戦争

令和7(2025)年は、太平洋戦争終結から80年目の年に当たります。日中戦争の開戦、太平洋戦争の勃発など、国内が戦争に向かって進んでいた時期も、造幣局は貨幣の製造を続けていました。

戦争が激しくなり、貨幣の材料となる金属の調達が難しくなった時には、素材を変えながら製造を続け、金属が調達できなくなった昭和20(1945)年には、粘土と長石を主原料とする陶貨幣(とうかへい)の製造を行いました。

今回の特別展では、昭和初期から昭和20年にかけて製造された貨幣や、昭和期に本格的に製造が始まった勲章、令和5(2023)年に京都市内で発見された陶貨幣を展示しています。また、戦時下の造幣局における職員育成や、造幣局の業務内容、広島支局開設の経緯と原爆被害についても紹介しています。

本展を通して、戦時下の造幣局と、そこで働いていた職員達の実像を皆様にお伝えできれば幸いです。



①大東亜戦争従軍記章／②功一級 金鷄勲章／③軍人傷痕記章／④支那事变従軍記章／⑤昭和15年銘 10銭アルミニウム青銅貨幣／⑥昭和14年銘 5銭アルミニウム青銅貨幣／⑦昭和20年銘 1銭錫亜鉛貨幣／⑧1銭陶貨幣／⑨5銭陶貨幣／⑩10銭陶貨幣

工場見学のご案内



平日は博物館に隣接している工場の見学も！貨幣や勲章の製造工程を見学通路から自由に見ることができます。

※ガイドによる説明付きのツアーは要予約。

ぜひ皆様お越しください



独立行政法人造幣局さいたま支局 造幣さいたま博物館

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)

休館日 毎週水曜日

造幣局HP

さいたま市大宮区北袋町1-190-22

TEL.048-645-5899(平日)

TEL.048-645-5990(土・日・祝日)



アクセス

○電車/JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線「さいたま新都心」駅下車、東口より徒歩約12分

○バス/東武バス「新都心バスターミナル前」徒歩約3分